

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書

2025 年 4 月 16 日

都道府県知事 殿

病院名 南長野医療センター篠ノ井総合病院
開設者 長野県厚生農業協同組合連合会

医師法第 16 条の 2 第 1 項に規定する臨床研修に関する省令（平成 14 年厚生労働省令第 158 号）第 12 条に基づき、年次報告書を提出いたします。
また、併せて、同省令第 9 条に基づき、1. 研修プログラムの変更、2. 研修プログラムの新設を届け出ます。
（研修プログラムを変更する場合には「1. 研修プログラム変更」に、研修プログラムを新設する場合には「2. 研修プログラムの新設」に○をつけてください。）

①. 基幹型臨床研修病院 2. 協力型臨床研修病院 （報告又は届出を行う臨床研修病院の型の番号に○をつけてください。）

- ・項目番号 1 から 27 までについては、年次報告において記入してください。
- ・研修プログラムの変更・新設の届出の場合は、項目番号 28 から 38 までについても記入してください。

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書－ 1 －

病院施設番号： 0 3 0 3 5 3

臨床研修病院の名称： 南長野医療センター篠ノ井総合病院

記入日：西暦 2025 年 4 月 日

病院施設番号 (基幹型、協力型記入) 既に番号を取得している臨床研修病院については 病院施設番号を記入してください。		0 3 0 3 5 3		臨床研修病院群の名称 (基幹型、協力型記入) 既に臨床研修病院群番号を有している臨床 研修病院群については、番号も記入し てください。		名称 南長野医療センター 篠ノ井総合病院	
作成責任者の氏名及び連絡先 (基幹型、協力型記入) 本報告書の問合せに対して回答できる作成 責任者について記入してください。		フリガナ サイ トシエ		役職 臨床研修科主任 (内線) (直通電話 (026) 292—2261) e-mail : shinogaf@grn.janis.or.jp (携帯電話のメールアドレスは不可とします。)			
		氏名 (姓) (名) 酒井 としえ					
1. 病院の名称 (基幹型、協力型記入)		フリガナ ナガノケンコウエイノウキョウキョウトウクミアイレンゴウカイ ミミナガノリョウセンタースノイソウゴウエイ					
		長野県厚生農業協同組合連合会 南長野医療センター篠ノ井総合病院					
2. 病院の所在地及び二次医 療圏の名称 (基幹型・協力型記入)		〒 3 8 8-8 0 0 4 (長野 都・道・府・県) 長野市篠ノ井会 6 6 6 番 1 電話 : (026) 292—2261 F A X : (026) 293—0025					
		二次医療圏 の名称 : 長野医療圏					
3. 病院の開設者の氏名 (法 人の名称) (基幹型・協力型記入)		フリガナ ナガノケンコウエイノウキョウキョウトウクミアイレンゴウカイ					
		長野県厚生農業協同組合連合会					
4. 病院の開設者の住所 (法 人の主たる事務所の所在 地) (基幹型・協力型記入)		〒 3 8 0-0 8 2 6 (長野 都・道・府・県) 長野市大字南長野北石堂町 1 1 7 7 番地 3 電話 : (026) 236 —2305 F A X : (026) 236—2307					
		フリガナ 伊ノ 才		姓 池 野 名 龍 雄			
6. 研修管理委員会の構成員の氏名 及び開催回数 (基幹型記入)		* 別紙 1 に記入 研修管理委員会の全ての構成員(協力型臨床研修病院及び臨床研修協力施設に所属する者を含む。)について記入してください。					
7. 病院群の構成等 (基幹型記入)		* 別表に記入 病院群を構成する全ての臨床研修病院、臨床研修協力施設の名称、新規指定の有無、病院群の構成の変更等について記入してください。					
8. 病院のホームページアドレス (基幹型・協力型記入)		http://shinonoi-ghp.jp/					

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書－ 2 －

病院施設番号： 0 3 0 3 5 3

臨床研修病院の名称：南長野医療センター篠ノ井総合病院

		※		
9. 医師（研修医を含む。）の員数 （基幹型・協力型記入）			常勤： 102 名、非常勤（常勤換算）： 8.1 名 計（常勤換算）：115.1 名、医療法による医師の標準員数：41.2 名 * 基幹型臨床研修病院は、当該病院が管理している研修医の氏名等について様式A－3に記入	
10. 救急医療の提供の実績 （基幹型・協力型記入）	救急病院認定の告示		告示年月日：西暦 2023 年 1 月 30 日、告示番号：第 44 号	
	医療計画上の位置付け		1. 初期救急医療機関 ②. 第二次救急医療機関 3. 第三次救急医療機関	
	救急専用診療（処置）室の有無		①. 有 （ 206.220 ） m ² 0. 無	
	救急医療の実績		前年度の件数： 10,889 件（うち診療時間外： 8,594 件） 1 日平均件数： 29.8 件（うち診療時間外： 23.5 件） 救急車取扱件数： 5,313 件（うち診療時間外： 3425 件）	
	診療時間外の勤務体制		医師： 3 名、看護師及び准看護師： 3 名	
	指導を行う者の氏名等		* 別紙4に記入	
	救急医療を提供している診療科		内科系（①. 有 0. 無） 外科系（①. 有 0. 無） 小児科（①. 有 0. 無） その他（ ）	
11. 医療法上の許可病床数（歯科の病床数を除く。） （基幹型・協力型記入）			1. 一般： 431 床、2. 精神： 床、3. 感染症： 床 4. 結核： 床、5. 療養： 床	
12. 診療科ごとの入院患者・外来患者・研修医の数 （基幹型・協力型記入）			* 別紙2に記入 年次報告の場合には、患者数は報告年度の前年度分、研修医の数は報告年度の前年度分の実績と当年度分の想定を記入。 研修プログラム変更・新設の届出の場合には、患者数は届出年度の前年度分、研修医の数は届出年度の次年度分及び次々年度分の想定を記入。	
13. 病床の種別ごとの平均在院日数（小数第二位四捨五入） （基幹型・協力型記入）			1. 一般： 10.2 日、2. 精神： 日、3. 感染症： 日 4. 結核： 日、5. 療養： 日	
14. 前年度の分娩件数 （基幹型・協力型記入）			正常分娩件数： 295 件、異常分娩件数： 221 件	
15. 臨床病理検討会（C P C）の実施状況 （基幹型・協力型記入）	開催回数		前年度実績： 5 回、今年度見込： 4 回 ※報告・届出病院の主催の	
	指導を行う病理医の氏名等		* 別紙4に記入 下に開催した回数を記入	
	剖検数		前年度実績： 1 件、今年度見込： 5 件	
	剖検を行う場所		当該医療機関の剖検室	①. 有 0. 無 （ ）大学、（ ）病院 無を選択した場合には、剖検を実施している大学又は病院を記入してください。
16. 研修医のための宿舎及び研修医室の有無 （基幹型・協力型記入）	研修医の宿舎		①. 有（単身用： 14 戸、世帯用： 2 戸） 0. 無（住宅手当： 円） 有を選択した場合には、単身用・世帯用に分けて宿舎の戸数を記入してください。 無を選択した場合には、住宅手当の金額を記入してください。住宅手当の支給が無い場合は、「0」と記入してください。	
	研修医室		①. 有（ 1 室） 0. 無 有を選択した場合には、研修医室の室数を記入してください。	
17. 図書、雑誌、インターネット等が利用できる環境及び医学教育用機材の整備状況 （基幹型・協力型記入）	図書室の広さ		（ 85.49 ） m ²	
	医学図書数		国内図書： 5,450 冊、国外図書： 250 冊	
	医学雑誌数		国内雑誌： 110 種類、国外雑誌： 61 種類	
	図書室の利用可能時間		00：00 ～ 24：00 24 時間表記	
	文献データベース等の利用環境		Medline 等の文献データベース（①. 有 0. 無）、教育用コンテンツ（①. 有 0. 無）、 その他（ ） 利用可能時間（ 00：00 ～ 24：00 ）24 時間表記	
医学教育用機材の整備状況		医学教育用シミュレーター（①. 有 0. 無）、 その他（ ）		

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書－ 3 －

病院施設番号： 0 3 0 3 5 3

臨床研修病院の名称：南長野医療センター篠ノ井総合病院

[illegible]

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書－ 4 －

病院施設番号：030353臨床研修病院の名称：南長野医療センター篠ノ井総合病院

項目 27 までについては、報告時に必ず記入してください。		※		
25. 時間外・休日労働の実績及び最大想定時間数 (基幹型記入)			* 別紙 5 に記入 年次報告の場合は、報告年度の前年度の実績及び報告年度の想定を記入。 研修プログラム変更・新設の届出の場合は、届出年度の前年度の実績及び次年度の想定を記入。	
26. 前年度に育児休業を取得した研修医の数 (基幹型・協力型記入)			女性 1 年次研修医 (0) 名 2 年次研修医 (0) 名 男性 1 年次研修医 (0) 名 2 年次研修医 (0) 名	
27. 研修医の妊娠・出産・育児に関する施設及び取組に関する事項 (基幹型・協力型記入)	院内保育所		院内保育所の有無 (①. 有 0. 無) 有を選択した場合、開所時間を記入してください (7 時 30 分 ~ 18 時 30 分) 病児保育 (①. 有 0. 無) 夜間保育 (1. 有 ①. 無) 上記保育所は研修医の子どもに使用可能か (①. 可 0. 不可)	
	保育補助		ベビーシッター・一時保育等利用時の補助 (①. 有 0. 無) その他の補助 (具体的に:)	
	体調不良時に休憩・授乳等に使用できる場所		休憩場所 (①. 有 0. 無) 授乳スペース (①. 有 0. 無)	
	その他育児関連施設・取組があれば記入 (院外との連携した取組もあれば記入)		(長野市委託病児・病後児保育所)	
	研修医のライフイベントの相談窓口		①. 有 0. 無 窓口の名称がある場合記入 () 窓口の専任担当 1. 有 (名) ①. 無	
	各種ハラスメントの相談窓口		窓口の名称を記入 (ハラスメント相談窓口) 窓口の専任担当 1. 有 (名) ①. 無	
※ここからは研修プログラムごとに記入してください。研修プログラムの変更又は新設の場合は、上記内容と併せて以下の内容についても記入してください。				
28. 研修プログラムの名称 (基幹型・協力型記入) プログラム番号は、既にプログラム番号を取得されている場合に記入してください。			研修プログラムの名称： プログラム番号：_____	
29. 研修医の募集定員 (基幹型記入)			1 年次： 名、2 年次： 名	
30. 研修医の募集及び採用の方法 (基幹型記入)	研修プログラムに関する問い合わせ先		フリガナ 氏名 (姓) (名) 所属 役職 電話：() — F A X：() — e-mail： URL：http://	
	資料請求先		住所 〒 □□□ — □□□□ (都・道・府・県) 担当部門 担当者氏名 フリガナ 姓 名 電話：() — F A X：() — e-mail： URL：http://	

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書－ 5 －

病院施設番号：030353

臨床研修病院の名称：南長野医療センター篠ノ井総合病院

※研修プログラムの変更又は新設の場合は、上記内容と併せて以下の内容についても記入してください。

30. 研修医の募集及び採用の方法（続き） （基幹型記入）		募集方法		１．公募 ２．その他（具体的に： ）
		応募必要書類 （複数選択可）		１．履歴書、２．卒業（見込み）証明書、３．成績証明書、 ４．健康診断書、５．その他（具体的に： ）
		選考方法 （複数選択可）		１．面接 ２．筆記試験 その他（具体的に： ）
		募集及び選考の時期		募集時期：　月　日頃から 選考時期：　月　日頃から
		マッチング利用の有無		１．有　０．無
31. 研修プログラムの名称及び概要 （基幹型記入）				概要：＊　別紙３に記入 （作成年月日：西暦　年　月　日）
32. プログラム責任者の氏名等（副プログラム責任者が配置されている場合には、その氏名等） （基幹型記入）				（プログラム責任者） フリガナ 氏名（姓） 氏名（名） 所属 役職 （副プログラム責任者） １．有（　名）　０．無
33. 臨床研修指導医（指導医）等の氏名等 （基幹型記入） 全ての臨床研修指導医等（協力型臨床研修病院に所属する臨床研修指導医及び臨床研修協力施設に所属する臨床研修の指導を行う者を含む。）について氏名等を記入してください。				*　別紙４に記入
34. インターネットを用いた評価システム				１．有（　・EPOC　・その他（　）　）　０．無
35. 研修開始時期 （基幹型、地域密着型記入）				西暦　年　月　日
36. 研修医の処遇 （基幹型・協力型記入）		処遇の適用 （基幹型臨床研修病院は、２に○をつけて、以下の各項目について記入してください。）		１．基幹型臨床研修病院と同一の処遇とする。 １を選択した場合には、以下の研修医の処遇の項目については、記入不要です。 ２．病院独自の処遇とする。
		常勤・非常勤の別		１．常勤　２．非常勤
		研修手当		一年次の支給額（税込み） 基本手当／月（　　　　　円） 賞与／年（　　　　　円） 二年次の支給額（税込み） 基本手当／月（　　　　　円） 賞与／年（　　　　　円） 時間外手当：　１．有　０．無 休日手当　：　１．有　０．無
		勤務時間		基本的な勤務時間（　：　～　：　）24時間表記 休憩時間（　　　　　） 時間外勤務の有無：１．有　０．無
		休暇		有給休暇（１年次：　　日、２年次：　　日） 夏季休暇（１．有　０．無） 年末年始（１．有　０．無） その他休暇（具体的に： ）
		当直		回数（約　　回／月）
		研修医の宿舍（再掲）		１．有（単身用：　　戸、世帯用：　　戸） ０．無（住宅手当：　　円） 有を選択した場合には、単身用・世帯用に分けて宿舍の戸数を記入してください。 無を選択した場合には、住宅手当の金額を記入してください。住宅手当の支給が無い場合は、「０」と記入してください。
		研修医室（再掲）		１．有（　　室）　０．無 有を選択した場合には、研修医室の室数を記入してください。
		社会保険・労働保険		公的医療保険（　　　　　） 公的年金保険（　　　　　） 労働者災害補償保険法の適用（１．有　０．無）、 国家・地方公務員災害補償法の適用（１．有　０．無） 雇用保険（１．有　０．無）

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書－ 6 －

病院施設番号：030353

臨床研修病院の名称：南長野医療センター篠ノ井総合病院

※研修プログラムの変更又は新設の場合は、上記内容と併せて以下の内容についても記入してください。

36. 研修医の処遇（続き） （基幹型・協力型記入）	健康管理		健康診断（年 回） その他（具体的に ）
	医師賠償責任保険の扱い		病院において加入（1. する 0. しない） 個人加入（1. 強制 0. 任意）
	外部の研修活動		学会、研究会等への参加：1. 可 0. 否
			学会、研究会等への参加費用支給の有無：1. 有 0. 無
	院内保育所（再掲）		院内保育所の有無 （1. 有 0. 無） 有を選択した場合、開所時間を記入してください （ 時 分 ～ 時 分）
			病児保育 （1. 有 0. 無） 夜間保育 （1. 有 0. 無）
			上記保育所は研修医の子どもに使用可能か （1. 可 0. 不可）
	保育補助（再掲）		ベビーシッター・一時保育等利用時の補助 （1. 有 0. 無）
			その他の補助（具体的に： ）
	体調不良時に休憩・授乳等に使用できる場所（再掲）		休憩場所 （1. 有 0. 無） 授乳スペース （1. 有 0. 無）
	その他育児関連施設・取組があれば記入（院外との連携した取組もあれば記入）（再掲）		（ ）
	研修医のライフイベントの相談窓口（再掲）		1. 有 0. 無 窓口の名称がある場合記入（ ） 窓口の専任担当 1. 有（ 名） 0. 無
各種ハラスメントの相談窓口（再掲）		窓口の名称を記入（ ） 窓口の専任担当 1. 有（ 名） 0. 無	
37. 研修医手帳 （基幹型記入）		1. 有 0. 無	
38. 連携状況 （基幹型記入）		* 様式A-6に記入	

※欄は、記入しないこと。

(記入要領)

- 1 研修プログラムを変更する場合には「1. 研修プログラム変更」に、研修プログラムを新設する場合には「2. 研修プログラムの新設」に○をつけること。
- 2 報告又は届出を行う臨床研修病院の型に応じて、「1. 基幹型臨床研修病院 2. 協力型臨床研修病院」の番号に○をつけること。
- 3 特に定めのあるもののほか、原則として、報告・届出日の属する年度（以下「報告・届出年度」という。）の4月1日現在で作成すること。
- 4 既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入し、前回提出した報告書の内容と異なる項目について記入すること。
- 5 各項目に、記入が必要な臨床研修病院の型を記載しているので、臨床研修病院の型に合わせて、記入が必要な項目について記入すること。
- 6 （基幹型・協力型記入）と記載されている項目は、基幹型臨床研修病院・協力型臨床研修病院の全ての臨床研修病院が記入対象となること。
- 7 （1. 有 0. 無）のように選択形式の項目は、いずれかに○をつけること。
- 8 **項目番号1から26までについては、年次報告において記入すること。**
- 9 研修プログラムの変更・新設の届出の場合は、項目番号27から37までについても記入すること。
- 10 ※欄は、記入しないこと。
- 11 「作成責任者の氏名及び連絡先」欄の作成責任者は、記載内容について十分回答できる者とする。
- 12 「病院群の構成等」欄は、病院群を構成する全ての臨床研修病院及び臨床研修協力施設の名称、新規指定の有無、病院群の構成の変更等について別表に記入すること。
- 13 「病院のホームページアドレス」欄は、当該病院がホームページを有する場合にのみ記入することで差し支えないこと。
- 14 「医師（研修医を含む。）の員数」欄について

- (1)「医療法第21条の規定に基づく人員の算定に当たっての取扱い等について」（平成10年6月26日付け健政発第777号・医薬発第574号）に基づき、当該病院に勤務する医師（研修医を含む。）について記入すること。なお、歯科医師は算定しないこと。
- (2)「常勤」とは、原則として当該病院で定めた医師の勤務時間の全てを勤務する者をいうものであること。
- (3)「非常勤」については、常勤以外の医師について、次に掲げる換算式により常勤換算をした数を記入すること。

※ 換算式

$$\frac{\text{非常勤医師の1週間の勤務時間数}}{\text{常勤医師の1週間の勤務時間数}} = \text{常勤換算をした数（小数第二位を四捨五入）}$$

- (4)「計（常勤換算）」については、常勤医師数と非常勤医師を常勤換算した数の合計を記入すること。
- (5)「医療法による医師の標準員数」は、医療法施行規則第19条第1項第1号の規定に従い、次に掲げる算出式により算出すること（患者数は、入院及び外来とも報告・届出年度の前年度の1日平均とすること。）。

※ 算出式

$$\left[\frac{\text{精神病床及び療養病床に係る入院患者数（歯科の入院患者数を除く。）}}{3} + \text{精神病床及び療養病床以外の病床に係る入院患者数（歯科の入院患者数を除く。）} + \frac{\text{外来患者数（精神科、耳鼻咽喉科、眼科及び歯科の外来患者数を除く。）}}{2.5} + \frac{\text{精神科、耳鼻咽喉科及び眼科の外来患者数}}{5} - 52 \right] \times \frac{1}{16} + 3 = \text{医師の標準員数}$$

ただし、医療法施行規則第43条の2に該当する病院については、上記算出式によらないものとする。

- (6) 当該病院の研修プログラムで研修を行っている全ての研修医の氏名等について、様式A-3に記入すること（歯科医師は記入しない。）。

15 「救急医療の提供の実績」欄について

- (1)「救急病院認定の告示」欄は、「救急病院等を定める省令」（昭和39年厚生省令第186号）に基づき都道府県知事の救急病院の認定を受けている病院である場合に、告示年月日（西暦）及び告示番号を記入するものであること。
- (2)「医療計画上の位置付け」欄は、医療計画上、初期救急医療機関、第二次救急医療機関又は第三次救急医療機関として位置付けられている場合に、該当する番号に○をつけるものであること。
- (3)「救急専用診療（処置）室の有無」欄は、救急専用診療（処置）室を有する場合には、「1. 有」に○をつけるとともに、その面積を記入し、有しない場合には、「0. 無」に○をつけること。
- (4)「救急医療の実績」欄については、「前年度の件数」は報告・届出年度の前年度の救急取扱件数（来院方法を問わず、全ての件数）、「1日平均件数」は報告・届出年度の前年度の救急取扱件数を年間総日数（365又は366）で除した数、また、「救急車取扱件数」は報告・届出年度の前年度の救急取扱件数のうちで来院方法が救急車によるものの数をそれぞれ記入すること。さらに、これらの件数のうち診療時間外に受け付けた件数について、それぞれの「うち診療時間外」欄に記入すること。
- (5)「診療時間外の勤務体制」については、「医師」数は、「救急医療を提供している診療科」の診療時間外の勤務体制における医師数を記入すること。また、「看護師及び准看護師」数は、専ら救急医療を提供するための病棟・外来に勤務する看護師及び准看護師のうち、診療時間外の交代制及び宿日直体制における看護師及び准看護師数を記入すること。
- (6)「指導を行う者の氏名等」欄については、救急医療の指導を行う者について別紙4に記入すること。
- (7)「救急医療を提供している診療科」欄は、内科系、外科系又は小児科に係る救急医療の提供の有無について、該当する番号に○をつけ、その他の診療科に係る救急医療を提供している場合には、「その他」欄に当該診療科名を記入すること。

16 「医療法上の許可病床数（歯科の病床数を除く。）」欄は、当該病院の病床の種別ごとの許可病床数を記入すること。

17 「診療科ごとの入院患者・外来患者・研修医の数」欄は、入院患者・外来患者の数においては、年次報告、研修プログラム変更・新設届出共に提出の前年度の実績を記入すること。研修医の数においては、年次報告では提出年度の前年度の実績と当該年度の想定を別葉にて記入し、研修プログラム変更・新設届出では、提出年度の次年度及び次々年度の想定を別葉にて記入すること。

17 「病床の種別ごとの平均在院日数」欄は、次に掲げる算出式により算出した、報告・届出年度の前年度の平均在院日数を記入すること。ただし、在院患者延日数とは、報告・届出年度の前年度の毎日0時現在の在院患者数を合計した数とすること。なお、在院患者延日数、新入院患者数及び退院患者数については、保険診療であるか否かを問わないものであること。

※ 算出式

$$\frac{\text{在院患者延日数}}{1 \div 2 (\text{新入院患者数} + \text{退院患者数})} = \text{平均在院日数（小数第二位を四捨五入）}$$

- 18 「前年度の分娩件数」欄は、報告・届出年度の前年度の正常分娩件数及び異常分娩件数についてそれぞれ記入すること。
- 19 「臨床病理検討会（C P C）の実施状況」欄について
- （１）「開催回数」欄は、報告・届出病院の主催の下に開催したC P Cの報告・届出年度の前年度の開催回数及び報告・届出年度の開催見込数を記入すること。
- （２）「剖検数」欄は、報告・届出年度の前年度の剖検件数及び報告・届出年度の剖検見込数を記入すること。
- （３）「剖検を行う場所」欄は、剖検を当該医療機関の剖検室で行っている場合は「１．有」に○をつけること。また、剖検を当該医療機関の剖検室で行っていない場合には、「０．無」に○をつけるとともに、剖検を大学の剖検室において行っているときは「（ ）大学」に当該大学名を記入し、剖検を他病院の剖検室で行っているときは「（ ）病院」に当該病院名を記入すること。
- 20 「研修医のための宿舎及び研修医室の有無」欄について
- （１）「研修医の宿舎」欄は、研修医の利用に供する宿舎（当該病院の敷地の内外を問わない。）を有する場合は「１．有」に○をつけるとともに、「単身用」・「世帯用」のそれぞれの戸数を記入すること。また、研修医のための宿舎を有さない場合は「０．無」に○をつけるとともに、住宅手当の支給内容（全額支給、一律〇〇円、最低〇〇円から最高〇〇円の範囲内で負担額に応じて支給等）を記入すること（住宅手当を支給していない場合には「０円」と記入すること。）。
- （２）「研修医室」欄は、研修医室を有する場合は「１．有」に○をつけるとともに、その室数を記入すること。また、研修医室を有さない場合は「０．無」に○をつけること。
- 21 「図書、雑誌、インターネット等が利用できる環境及び医学教育用機材の整備状況」欄について
- （１）「文献データベース等の利用環境」欄は、Medline等の文献データベース及び教育用コンテンツのそれぞれについて、利用できる場合は「１．有」に○をつけ、利用できない場合には「０．無」に○をつけること。また、文献データベース及び教育用コンテンツ以外に、これに類するもので利用できるものがある場合は「その他（ ）」にその内容を記入すること。
- （２）「医学教育用機材の整備状況」欄は、医学教育用シミュレーターの整備の有無について該当する番号に○をつけること。また、臨床研修に必要なその他の医学教育用機材を整備している場合は「その他（ ）」にその内容を記入すること。
- 22 「病歴管理体制」欄について
- （１）「診療に関する諸記録の管理方法」欄は、診療に関する諸記録（診療録、病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約等）に関する管理方法について、主に中央管理を行っている場合には「１．中央管理」、主に各科管理を行っている場合には「２．各科管理」に○をつけること。また、いずれにも該当しない場合は「その他」欄にその内容を具体的に記入すること。
- （２）「診療録の保存方法」欄は、診療録を文書により保存している場合には「１．文書」、電子媒体により保存している場合には「２．電子媒体」に○をつけること。また、双方併用で保存している場合等は「その他」欄に具体的に記入すること。
- 23 「医療安全管理体制」欄について
- （１）「安全管理者の配置状況」欄は、安全管理者を配置している場合は「１．有」に○をつけるとともに、その人数を記入すること。また、安全管理者を配置していない場合には「０．無」に○をつけること。
- （２）「安全管理部門の設置状況」欄は、安全管理部門の専任職員及び兼任職員の数をそれぞれ記入するとともに、安全管理部門の主な活動内容を記入すること。
- （３）「患者からの相談に適切に応じる体制の確保状況」欄は、患者相談窓口の責任者の氏名及び役職並びに患者相談への対応時間を記入するとともに、患者相談窓口に係る規約を有する場合は「１．有」に○をつけ、有さない場合には「０．無」に○をつけること。
- 24 「現に受け入れている研修医数」欄は、当該病院で実際に研修した全ての研修医数を記入すること。基幹型臨床研修病院であり、かつ協力型臨床研修病院である場合は、協力型として受け入れた研修医も合計すること。基幹型臨床研修病院として管理している研修医が、協力型臨床研修病院で１年間研修を行い、基幹型臨床研修病院である当該病院で研修を行わない場合は、数に含まないこと。
- 25 「受入可能定員」欄は、医療法上の許可病床数（歯科の病床数を除く。）からの算出（÷10）及び年間入院患者数（報告・届出年度の前々年度からの繰越患者数＋報告・届出年度の前年度の新規入院実患者数）からの算出（÷100）の双方とも記入すること。
- 26 「精神保健福祉士、作業療法士その他診療要員の配置状況」欄は、当該病院が精神科の研修を行う場合に記入するものであり、精神保健福祉士、作業療法士、臨床心理技術者のそれぞれの職種について、職員数及び常勤・非常勤別の内訳数を記入すること。また、これらの職種以外にも精神科に係る技術職員がいる場合は、その職員数及び常勤・非常勤別の内訳数を記入すること。
- 27 「前年度に育児休業を取得した研修医の数」は、当該年度に育児休業を取得した研修医がいる場合は、男女、年次別にその人数を記入すること。
- 28 「研修医の妊娠・出産・育児に関する施設及び取組に関する事項」欄については、
- （１）「院内保育所」欄は、病院内に保育所等の保育施設を有している場合は「１．有」に○をし、保育所の基本的な開所時間を記入すること。ない場合には「０．無」に○をすること。「病児保育」・「夜間保育」欄は、院内保育所で病児保育・夜間保育を行っている場合は、それぞれにつき「１．有」に○をし、ない場合はそれぞれにつき「０．無」に○をすること。「上記保育所は研修医の子どもにも使用可能か」欄は、上記で回答した保育所に研修医が子どもを預けることが可能な場合は「１．可」に○をし、預けることができない場合は「０．不可」に○をすること。
- （２）「保育補助」欄は、ベビーシッター・一時保育等利用時の補助を病院が行っている場合は「１．有」に○をし、ない場合は「０．無」に○をすること。その他に何らかの保育補助を行っている場合は、その他欄にその内容を具体的に記入すること。
- （３）「体調不良時に休憩・授乳等に使用できる場所」欄は、病院内に研修医が使用できる休憩場所や授乳スペースを有している場合は、それぞれにつき「１．有」に○をし、ない場合はそれぞれにつき「０．無」に○をすること。
- （４）「その他育児関連施設・取組」欄は、上記（１）～（３）に該当しない、育児関連施設を有している場合や育児関連の取組を行っている場合（院外施設・制度との連携した取組も含む）は、回答欄内にその内容を具体的に記入すること。
- （５）「研修医のライフイベント相談窓口」欄は、病院内に研修医がライフイベントについて相談できる窓口を設置している場合は「１．有」に○をし、ない場合は「０．無」に○をすること。「１．有」を選択した病院は、その窓口の名称がある場合は記載し、窓口の専任担当がいる場合は「１．有」に○をして、その人数を記載すること、専任担当がいらない場合は「０．無」に○をすること。
- （６）「各種ハラスメント相談窓口」欄は、病院内に研修医が各種ハラスメントについて相談できる窓口の名称について記載し、窓口の専任担当がいる場合は「１．有」に○をして、その人数を記載すること、専任担当がいらない場合は「０．無」に○をすること。
- 29 「研修プログラムの名称」以降の欄については、研修プログラムごとに別葉に記入すること。
- 30 「インターネットを用いた評価システム」欄は、該当するものに○をつけ、「１．有」を選択した場合は、EPOCかその他を選択すること。

31 「研修医の募集定員」については、当該病院で臨床研修を行っている１年次及び２年次の合計が受入可能定員を超えないこと。

32 「研修医の募集及び採用の方法」欄について

（１）「募集方法」欄は、研修医を公募により募集する場合には「１．公募」に○をつけ、その他の方法とする場合にはその他欄にその内容を具体的に記入すること。

（２）「応募必要書類」欄は、研修医が選考に応募する際に必要な書類全てに○をつけ、その他に必要な書類がある場合には、その他欄にその内容を具体的に記入すること。

（３）「選考方法」欄は、研修医の選考方法について該当するもの全てに○をつけ、その他に選考方法を設ける場合には、その他欄にその内容を具体的に記入すること。

（４）「募集及び選考の時期」欄は、募集及び選考の時期について、具体的に記入すること。

（５）「マッチング利用の有無」欄は、マッチングを利用する場合には「１．有」に○をし、マッチングを利用しない場合には「０．無」に○をすること。

33 「研修医の処遇」欄について

（１）「処遇の適用」欄については、基幹型臨床研修病院は、２に○をつけ、以降の研修医の処遇の各項目について記入すること。また、協力型臨床研修病院は、基幹型臨床研修病院と同一の処遇とする場合には、１に○をつけ（この場合、以降の研修医の処遇の項目については記入しなくとも差し支えないこと。）、また、病院独自の処遇とする場合には、２に○をつけること。

（２）「研修手当」欄は、研修医の基本的な研修手当について、１年次及び２年次の基本手当の額（税込み）、賞与の支給額を記入すること。基本手当が月給ではない場合にあっては、およその月額を記入すること。時間外手当及び休日手当を支給する場合は、それぞれ「１．有」に、支給しない場合には「０．無」に○をつけること。なお、時間外勤務及び休日勤務がある場合においては、時間外手当及び休日手当が支給されるものと考えられること。

（３）「勤務時間」欄は、研修医の基本的な勤務時間及び勤務時間中の休憩時間について記入すること。また、「時間外勤務の有無」欄は、時間外勤務がある場合には「１．有」に、ない場合には「０．無」に○をつけること。

（４）「休暇」欄は、研修医の基本的な休暇の内容について、１年次及び２年次の有給休暇付与日数を記入すること。また、夏季休暇、年末年始休暇の有無について該当するものに○をつけること。また、これら以外に休暇を付与する場合は、その具体的休暇名を記入すること。

（５）「当直」欄は、研修医の一月あたりのおよその当直回数について記入すること。

（６）「社会保険・労働保険」欄は、研修医に適用される社会保険・労働保険について、「公的医療保険（ ）」欄に「組合健康保険」等と、「公的年金保険（ ）」欄に「厚生年金保険」等と記入し、「労働者災害補償保険法の適用」欄、「国家・地方公務員災害補償法の適用」欄、「雇用保険」欄のそれぞれ該当するものに○をつけること。

（７）「健康管理」欄は、研修医の基本的な健康管理について、健康診断の回数を記入すること。また、健康診断以外で健康管理を実施している場合は、「その他」欄に具体的に記入すること。

（８）「医師賠償責任保険の扱い」欄は、研修医の医師賠償責任保険の基本的な扱いについて該当するものに○をつけること。

（９）「外部の研修活動」欄は、学会、研究会等への参加を認めるか否かについて該当するものに○をつけ、認める場合における参加費用の支給の有無についても、該当するものに○をつけること。

6. 研修管理委員会の構成員の氏名及び開催回数（2024 年度開催回数 2 回）

病院施設番号：030353 臨床研修病院の名称：南長野医療センター篠ノ井総合病院

氏名		所属	役職	備考
フリガナ イケノ タツオ		南長野医療センター篠ノ井総合病院	院長	研修管理委員長
姓 池野	名 龍雄			
フリガナ マツオ アケミ		南長野医療センター篠ノ井総合病院	副院長	プログラム責任者 指導医
姓 松尾	名 明美			
フリガナ ウシマル ヒロヤス		南長野医療センター篠ノ井総合病院	副院長	指導医
姓 牛丸	名 博泰			
フリガナ マキノ ヤスシ		南長野医療センター篠ノ井総合病院	部長	指導医
姓 牧野	名 靖			
フリガナ アサワ シロウ		南長野医療センター篠ノ井総合病院	部長	指導医
姓 浅輪	名 史朗			
フリガナ スズキ ヒサノリ		南長野医療センター篠ノ井総合病院	部長	指導医
姓 鈴木	名 尚徳			
フリガナ ミヤシタ トシヒコ		南長野医療センター篠ノ井総合病院	統括院長	
姓 宮下	名 俊彦			
フリガナ サトウ エツロウ		南長野医療センター新町病院	副院長	研修実施責任者
姓 佐藤	名 悦郎			
フリガナ チアキ トモシゲ		北信総合病院	部長	研修実施責任者
姓 千秋	名 智重			
フリガナ ミヤジマ ユカ		長野市保健所	所長	研修実施責任者
姓 宮島	名 有果			

※ 1 ページ目の最上欄には、研修管理委員長の氏名等を記入すること。「所属」欄には、当該構成員が所属する病院又は施設の名称を記入すること。研修管理委員長、プログラム責任者、研修実施責任者及び臨床研修指導医（指導医）については、「備考」欄にその旨を記入すること。欄が足りない場合には、コピーにより対応し、「(No.)」欄にページ数を記入すること。

氏名		所属	役職	備考
フリガナ シミズ タケシ		コスモス長野	施設長	研修実施責任者
姓 清水	名 健			
フリガナ エンドウ ケンジ		千曲荘病院	院長	研修実施責任者
姓 遠藤	名 謙二			
フリガナ ヤマダ ユウジ		愛和病院	理事長	研修実施責任者
姓 山田	名 裕司			
フリガナ ツノ ヒロカズ		長野県赤十字血液センター	所長	研修実施責任者
姓 津野	名 寛和			
フリガナ ウチバ キヨシ		大岡診療所	所長	研修実施責任者
姓 内場	名 廉			
フリガナ ヤマギシ ミエコ		訪問看護ステーションしののい	所長	研修実施責任者
姓 山岸	名 美枝子			
フリガナ シミズ キミヒロ		信州大学医学部附属病院	卒後臨床研修 センター長	研修実施責任者
姓 清水	名 公裕			
フリガナ カタイ サトシ		鹿教湯三才山リハビリテーション鹿 教湯病院	診療部長	研修実施責任者
姓 片井	名 聡			
フリガナ ユウキ マサトシ		篠ノ井橋病院	院長	研修実施責任者
姓 遊木	名 正俊			
フリガナ マツイ マサヒコ		更級医師会	会長	有識者
姓 松井	名 雅彦			
フリガナ ヤジマ ヒトシ		南長野医療センター篠ノ井総合病院	薬剤部長	
姓 矢畠	名 仁			

(NO. 3)

氏名	所属	役職	備考
フリガナ ミタ アキラ	南長野医療センター篠ノ井総合病院	総技師長	
姓 味田 名 輝			
フリガナ カラサワ キヨコ	南長野医療センター篠ノ井総合病院	看護部長	
姓 唐沢 名 清子			
フリガナ サカイ キョウコ	南長野医療センター篠ノ井総合病院		
姓 酒井 名 京子			
フリガナ スズキ ノボル	南長野医療センター篠ノ井総合病院	事務長	事務部門の長
姓 鈴木 名 昇			
フリガナ タカマツ アユミ	南長野医療センター篠ノ井総合病院	臨床研修科課長	
姓 高松 名 あゆみ			
フリガナ サカイ トシエ	南長野医療センター篠ノ井総合病院	臨床研修科主任	
姓 酒井 名 としえ			
フリガナ コバヤシ タエミ	南長野医療センター篠ノ井総合病院		
姓 小林 名 妙美			
フリガナ シマザキ ユキ	南長野医療センター篠ノ井総合病院		
姓 島寄 名 友紀			
フリガナ			
姓 名			
フリガナ			
姓 名			

7. 病院群の構成等

様式 A-10別表

基幹型又は地域密着型病院の名称（所在都道府県）：南長野医療センター篠ノ井総合病院（長野県）

基幹型又は地域密着型臨床研修病院				協力型臨床研修病院					臨床研修協力施設					研修プログラム	
所在都道府県	二次医療圏	名称	新規	所在都道府県	二次医療圏	追加・削除	名称	新規	所在都道府県	二次医療圏	追加・削除	名称	新規	名称	定員
		(病院施設番号：)		長野県	松本		信州大学医学部附属病院 (病院施設番号:030346)		長野県	長野		長野市保健所 (病院施設番号:032547)		南長野医療センター篠ノ井総合病院臨床研修プログラム	7
				長野県	北信		北信総合病院 (病院施設番号:030348)		長野県	長野		長野県赤十字血液センター (病院施設番号:032548)			
				長野県	上小		千曲荘病院 (病院施設番号:031619)		長野県	長野		コスモス長野 (病院施設番号:056466)			
							(病院施設番号：)		長野県	長野		訪問看護ステーションしののい (病院施設番号:056467)			
							(病院施設番号：)		長野県	長野		南長野医療センター新町病院 (病院施設番号:056468)			
							(病院施設番号：)		長野県	長野		篠ノ井橋病院 (病院施設番号:060029)			
							(病院施設番号：)		長野県	長野		長野市国保大岡診療所 (病院施設番号:067259)			
							(病院施設番号：)		長野県	長野		愛和病院 (病院施設番号:096431)			
							(病院施設番号：)		長野県	上小		鹿教湯三才山リハビリテーションセンター鹿教湯病院 (病院施設番号:096540)			
							(病院施設番号：)		長野県	長野	追加	いろどりの診療所 (病院施設番号：)			

病院群を構成する臨床研修病院及び研修協力施設（病院又は診療所に限る）が同一の二次医療圏又は同一の都道府県を越えている場合は、その理由を以下に記載。

不足している診療科を補うため。

※ 該当する項目について、上から病院施設番号順に詰めて記入すること。

※ 病院群を構成する全ての基幹型病院、協力型病院及び臨床研修協力施設（今回の届出により削除しようとするものを含む。）の所在都道府県、二次医療圏、名称をそれぞれの「所在都道府県」、「二次医療圏」、「名称」欄に記入（既に病院施設番号を取得している研修病院等は番号を「名称」欄に記入）した上で、それぞれの施設が新たに臨床研修協力病院（協力施設）となる場合は「新規」欄に「○」を記入し、また、臨床研修病院（協力施設）を追加又は削除する場合にはそれぞれの施設が以前の病院群に追加されるか、以前の病院群から削除されるかにより「追加・削除」欄に「追加」又は「削除」を記入すること。

※ 当該病院群に係る全ての研修プログラムの名称及び募集定員（自治医科大学卒業生分等マッチングによらないものを含む。）を「研修プログラム」欄に記入すること。

臨床研修病院群を構成する関係施設相互間の連携体制

基幹型臨床研修病院名（病院施設番号）：南長野医療センター篠ノ井総合病院（ 030353 ）

臨床研修病院群名： 南長野医療センター篠ノ井総合病院 臨床研修病院群番号：0303534

基幹型臨床研修病院の指定申請の際には、基幹型臨床研修病院名の部分に申請病院名を記入してください。

既に臨床研修病院群番号を取得されている臨床研修病院群については、番号も記入してください。

医師の往来の有無	①. 有 0. 無（いずれかに○をつけてください。有に○をつけた場合には、以下に具体的な内容を記入してください。） ・ 診療支援 ・ 臨床研修管理委員会
医療機器の共同利用	1. 有 ①. 無（いずれかに○をつけてください。有に○をつけた場合には、以下に具体的な内容を記入してください。）
合同臨床病理検討会の開催	1. 有 ①. 無（いずれかに○をつけてください。有に○をつけた場合には、以下に具体的な内容を記入してください。）
その他の診療及び臨床研修についての連携	①. 有 0. 無（いずれかに○をつけてください。有に○をつけた場合には、以下に具体的な内容を記入してください。） ・ 病病連携、病診連携 ・ 退院患者のフォロー

※記入しないこと

12. 診療科ごとの入院患者・外来患者の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

臨床研修病院の名称：南長野医療センター篠ノ井総合病院

病院施設番号：030353

区 分	内 科	救急部門	外 科	麻酔科（部門）	小児科	産婦人科	又は		精神科	病院で定めた必修科目の診療科		その他の研修を行う診療科						合 計
							産科	婦人科				眼科	耳鼻咽喉科	泌尿器科	皮膚科	形成外科	その他（病理診断科）	
年間入院患者実数 （ ）内は救急件数又は分娩件数	5211	177 (10193)	3459	20	484	1804 (516)						1249	207	449	48	80		13188
年間新外来患者数	5228	1830	3251	16	1539	1307			43			765	392	525	543	553		15992
1 日平均外来患者数 （ ）内は年間外来診療日数	379. 4 （ 265 ）	29. 8 （ 365 ）	150. 2 （ 265 ）	6. 1 （ 265 ）	32. 9 (265)	98. 1 (265)			1. 9 (265)			30. 3 (265)	17. 1 (265)	33. 5 (265)	24. 4 (265)	11. 1 (265)		
平均在院日数																		
常勤医師数 （うち臨床研修指導医（指導医）数）	43 (29)	2 (2)	17 (13)	6 (3)	6 (3)	7 (5)			1 (1)			4 (1)	2 (1)	3 (3)	1 (1)	1 (0)	5 (3)	98 (65)

※ 「年間入院患者実数」とは、提出年度の前々年度の繰越患者数に提出年度の前年度中における新入院患者数を加えた数とすること。「年間新外来患者数」とは、提出年度の前年度中に来院した外来患者のうち、初診料を算定した患者数とすること。「1日平均外来患者数」とは、年間外来患者延数÷年間外来診療日数による数（小数第二位を四捨五入）とすること。「病院で定めた必修科目の診療科」欄等が足りない場合には、続紙（様式自由）に記載し添付すること。「救急件数」及び「分娩件数」とは、10. の救急医療の実績の前年度の件数及び 14. の正常分娩件数と異常分娩件数の合計とすること。

※ 「内科」とは、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、神経内科等を含めた広義の内科のうち基本研修科目の内科分野の研修を行う診療科であり、「外科」とは、心臓血管外科、呼吸器外科、脳外科等を含めた広義の外科のうち基本研修科目の外科分野の研修を行う診療科であること。

12. 診療科ごとの研修医の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

[illegible]

	合計	1	1	1	1				1	1	1		1	
南長野医療センター篠ノ井総合病院	産婦人科	1	1	1	1			1	1	1				
信州大学医学部部族病院	産婦人科					1								
長野市民病院	産婦人科			1	1		1	1	1	1				
長野松代総合病院	産婦人科		1			1	1	1		1	1			
	合計	1	2	2	2	2	2	3	2	3	1			

12. 診療科ごとの研修医の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

(7 年度分)									臨床研修病院の名称：南長野医療センター篠ノ井総合病院					
									病院施設番号：030353					
基幹型臨床研修病院名	担当分野	1～ 4 週	5～ 8 週	9～ 12 週	13～ 16 週	17～ 20 週	21～ 24 週	25～ 28 週	29～ 32 週	33～ 36 週	37～ 40 週	41～ 44 週	45～ 48 週	49～ 52 週
南長野医療センター篠ノ井総合病院	内科	3	3	3	3	4	4	4	3	3	3	4	4	4
信州大学医学部部族病院	内科	1	1	1	1				1	1	1			
	合計	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
南長野医療センター篠ノ井総合病院	救急部門	2	3	3	2	3	2	2	3	2	2	2		2
信州大学医学部部族病院	救急部門						1						1	
	合計	2	3	3	2	3	3	2	3	2	2	2	1	2
南長野医療センター篠ノ井総合病院	麻酔科			1	2			1	1		1	1	1	
信州大学医学部部族病院	麻酔科							1						
	合計			1	2			2	1		1	1	1	
南長野医療センター篠ノ井総合病院	外科	1	1			1	1		1	1			1	
信州大学医学部部族病院	外科											1		
	合計	1	1			1	1		1	1		1	1	
南長野医療センター篠ノ井総合病院	整形外科	1	2	1		1	1		1	1	1	1	1	1
信州大学医学部部族病院	整形外科							1						

	合計	1	2	1		1	1	1	1	1	1	1	1	1
南長野医療センター篠ノ井総合病院	脳神経外科	1	2			1			1	1	1	1	1	1
信州大学医学部部族病院	脳神経外科						1	1						
	合計	1	2			1	1	1	1	1	1	1	1	1
南長野医療センター篠ノ井総合病院	小児科		1	1	1				1	1	1		1	
信州大学医学部部族病院	小児科	1												
	合計	1	1	1	1				1	1	1		1	
南長野医療センター篠ノ井総合病院	産婦人科	1	1	1	1			1	1	1				
信州大学医学部部族病院	産婦人科					1								
長野市民病院	産婦人科			1	1		1	1	1	1				
長野松代総合病院	産婦人科		1			1	1	1		1	1			
	合計	1	2	2	2	2	2	3	2	3	1			

※ 年次報告の場合は提出年度の前年度の実績分及び提出年度分の想定を別葉で作成し、研修プログラム変更・新設届出の場合は、届出年度の次年度分、次々年度分の想定を別葉で作成すること。

※ 当該病院が上記の年度に受け入れた、又は受け入れる予定の研修医の数を、基幹型臨床研修病院別及び担当分野別に記入すること。当該病院が基幹型臨床研修病院であり、かつ協力型臨床研修病院として研修医を受け入れている場合は、協力型臨床研修病院として受け入れている人数も含めて、全ての人数を記入すること。

※ 「基幹型臨床研修病院名」欄は、当該病院が基幹型臨床研修病院の場合は、当該病院を一番上に記入することとし、次に協力型臨床研修病院として受け入れている基幹型臨床研修病院名を記入すること。

※ 基幹型臨床研修病院及び担当分野ごとに各４週ごとに受け入れる研修医の延人数（研修期間４週について１人とする）を記入すること。

※ 「担当分野」欄には、内科、救急部門、地域医療、外科、麻酔科、小児科、産婦人科及び精神科のみを記入し、選択科については記入しないこと。ただし、一般外来については、他科との並行研修ではなく、単独で実施する場合に限り記入すること。また、当該病院が基幹型臨床研修病院であるとき、病院が定めた必修科目が上記以外にある場合には、その科目も含めて記入すること。

31. 研修プログラムの名称及び概要

プログラム番号： 030353405

病院施設番号： 030353

臨床研修病院の名称：南長野医療センター篠ノ井総合病院

臨床研修病院群番号：0303534

臨床研修病院群名：南長野医療センター篠ノ井総合病院

プログラム番号、病院施設番号及び臨床研修病院群番号は、既に取得されている場合に記入してください。

1. 研修プログラムの名称		南長野医療センター篠ノ井総合病院臨床研修プログラム			
2. 研修プログラムの特色		全職種の新人職員と共に約2週間院内新人研修センターで医療人としての基本を学び、他職種との関係を緊密にすることから始める。農村地帯を含む地方都市の基幹病院として古くから患者本位を診療の中心に掲げながら、第一次及び第二次医療と、予防医学、在宅医療の実践に取り組んでいる本病院の特色を理解し、将来の専門性にかかわらず、プライマリ・ケアの基本的な診療能力を身につける。			
3. 臨床研修の目標の概要		日常診療で頻繁に遭遇する病気や病態に適切に対応できるようプライマリ・ケアの基本的な診療能力を、態度・習慣、技能、知識のすべての領域において身につけるとともに、医師としての人格を涵養することにより、優秀な臨床研修修了医を社会に送り出すことを目的とする。			
4. 研修期間		(2) 年 (原則として、「2年」と記入してください。)			
備考		研修後そのまま専門研修に入り3年以上研修可能な病院は、その旨を記入してください。 内科、産婦人科、総合診療科は基幹施設であり引き続き専門研修が可能。			
5. 臨床研修を行う分野		研修分野ごとの病院又は施設（研修分野ごとの研修期間） * 同一の研修分野について複数の病院又は施設で研修を行う場合には、適宜欄を分割してすべての病院又は施設の名称（病院施設番号）を記入してください。 * 研修期間は、研修分野ごとに週単位で記入してください。各研修分野におけるプログラムの詳細は備考欄に記入してください。 * 選択科目については、その診療科を選択した場合の病院又は施設等を記入してください。			
		病院施設番号	病院又は施設の名称	研修期間	内一般外来
(記入例) x x 科		1234567	〇〇 病院	〇週	〇週
必修科目・分野	内科	030353	南長野医療センター篠ノ井総合病院	24 週	4 週
	救急部門	030353	南長野医療センター篠ノ井総合病院	16 週	
	地域医療	056468	南長野医療センター新町病院他	6 週	一般外来 1 週 在宅診療 1 週
	外科	030353	南長野医療センター篠ノ井総合病院	4 週	1 週
	小児科	030353	南長野医療センター篠ノ井総合病院	4 週	1 週
	産婦人科	030353	南長野医療センター篠ノ井総合病院	4 週	
	精神科	031619	千曲荘病院、北信総合病院、篠ノ井橋病院	4 週	
	一般外来			週	
病院で定めた必修科目	外科系	030353	南長野医療センター篠ノ井総合病院	6 週	
				週	
				週	
選択科目	その他の科目	030353	南長野医療センター篠ノ井総合病院、 信州大学医学部附属病院他	33 週	
その他	総合	030353	南長野医療センター篠ノ井総合病院	3 週	

備考：基幹型臨床研修病院での研修期間・・・最低 59 週。研修協力施設での研修・・・最大 12 週（※原則として 12 週以内であること。へき地離島診療所等の研修期間は含まない。）

一般外来の研修を行う診療科・・・内科、地域医療、外科、小児科。

救急部門（必須）における麻酔科研修期間・・・3 週

CPC 実施施設名：南長野医療センター篠ノ井総合病院。

精神科研修施設名：北信総合病院（030348）、千曲荘病院（031619）、篠ノ井橋病院（060029）

病院で定めた必須科目：外科系；脳神経外科、整形外科。

選択科目：原則として 1 科から 6 科までを選択でき、1 科は 4 週以上とする。南長野医療センター篠ノ井総合病院、信州大学医学部附属病院（030346）、協力型病院、協力型施設。研修可能な選択科は総合診療科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、膠原病科、リウマチ科、糖尿病・内分泌・代謝内科、腎臓内科、心療内科・精神科、小児科、外科、整形外科、脳神経外科、呼吸器外科、心臓血管外科、皮膚科、形成外科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、放射線科、救急科、麻酔科、病理診断科、地域医療、保健・医療行政である。

地域医療：南長野医療センター新町病院（056468）、愛和病院（096431）、長野市国保大岡診療所（067259）、鹿教湯三才山リハビリテーションセンター鹿教湯病院（096540）、いろどりの診療所で行なう。

保健・医療行政：南長野医療センター篠ノ井総合病院（030353）、訪問看護ステーションしののけ（056467）、長野市保健所（032547）、長野赤十字血液センター（032548）、コスモス長野（056466）で行なう。

その他：職種の新入職員とともに、医療人としての基本を学ぶ。

プログラム番号、病院施設番号及び臨床研修病院群番号	病院施設番号： 030353	臨床研修病院の名称： 南長野医療センター篠ノ井総合病院
は、既に取得されている場合に記入してください。	臨床研修病院群番号： 0303534	臨床研修病院群名： 南長野医療センター篠ノ井総合病院

6. 研修スケジュール（○一年次・二年次：いずれかに○）														プログラム番号 030353405	
臨床研修開始週を基準に各週の研修人数を記入してください。＊1														(No. 1)	
病院又は施設の名称 (病院施設番号)	研修分野＊2	1～ 4週	5～ 8週	9～ 12週	13～ 16週	17～ 20週	21～ 24週	25～ 28週	29～ 32週	33～ 36週	37～ 40週	41～ 44週	45～ 48週	49～ 52週	
凡例 ○×病院 (○×○×○×)	内科	5													
凡例 ▲■病院 (▲■▲■▲■)	外科	3													
凡例 △□病院 (△□△□△□)	外科			3											
南長野医療センター篠ノ井総合病院(030353)	内科	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
南長野医療センター篠ノ井総合病院(030353)	外科	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
南長野医療センター篠ノ井総合病院(030353)	救急科	1	1	1	1	1	1	1	2	1	1	1	2	1	1
南長野医療センター篠ノ井総合病院(030353)	選択科				2	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1
南長野医療センター篠ノ井総合病院(030353)	外科系	2	2	2	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1
南長野医療センター篠ノ井総合病院(030353)	麻酔科			1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1

＊1：臨床研修病院群における臨床研修で、1つの研修プログラムの中で研修医によって研修を行う研修分野の順番が異なる研修方法（たすきがけ方式等）を採用する場合は、当該研修プログラムの研修分野並びに当該分野の研修を行う病院又は施設の名称及び研修期間を本用紙に記入した上で、研修分野の順番のパターンごとに研修スケジュールを別葉に記入すること。また、同様の研修プログラムが複数存在する場合は、すべての研修プログラムを1枚にまとめたものを添付すること。

＊2：「研修分野」欄には、「5. 臨床研修を行う分野」欄に記入した研修分野を記入すること。

＊3：選択科目の研修分野の各月の研修人数については、病院ごとの研修医の受入予定の中で考えられる最大の受入数を記入すること。

プログラム番号、病院施設番号及び臨床研修病院群番号は、既に取得されている場合に記入してください。	病院施設番号： 030353	臨床研修病院の名称： 南長野医療センター篠ノ井総合病院
	臨床研修病院群番号： 0303534	臨床研修病院群名： 南長野医療センター篠ノ井総合病院

6. 研修スケジュール（一年次・〇二年次：いずれかに〇）

臨床研修開始週を基準に各週の研修人数を記入してください。＊１

プログラム番号 030353405

(No. 1)

病院又は施設の名称 (病院施設番号)	研修分野 ＊ 2	1～ 4 週	5～ 8 週	9～ 12 週	13～ 16 週	17～ 20 週	21～ 24 週	25～ 28 週	29～ 32 週	33～ 36 週	37～ 40 週	41～ 44 週	45～ 48 週	49～ 52 週
南長野医療センター篠ノ井総合病院 (030353)	救急科	1 1 1 1	1 1 1 1	1 1 1 1	1 1 1 1	1 1 1 1	1 1 1 1	1 1 1 1	1 1 1 1	1 1 1 1	1 1 1 1	1 1 1 1		
南長野医療センター篠ノ井総合病院 (030353)	産婦人科	1 1 1 1	1 1 1 1	1 1 1 1	1 1 1 1			1 1 1 1	1 1 1 1	1 1 1 1				
南長野医療センター篠ノ井総合病院 (030353)	小児科		1 1 1 1	1 1 1 1	1 1 1 1				1 1 1 1	1 1 1 1	1 1 1 1		1 1 1 1	
千曲荘病院他 (031619)	精神科				1 1 1 1		1 1 1 1		1 1 1 1	1 1 1 1				
篠ノ井橋病院 (060029)	精神科					1 1 1 1			1 1 1 1	1 1 1 1		1 1 1 1		
南長野医療センター新町病院他 (056469)	地域医療		1 1 1 1	1 1 1 1			1 1 1 1	1 1 1 1		1 1 1 1	1 1	1 1 1 1		
愛和病院 (096431)	地域医療	1 1 1 1					1 1	1 1 1 1		1 1 1 1				
南長野医療センター篠ノ井総合病院他 (030353)	選択科	5 5 5 5	3 3 2 2	2 2 3 3	3 3 3 3	5 5 4 4	4 4 4 4	4 4 3 3	1 1 1 1		5 5 5 5	6 5 5 5	5 6 6 6	7 7 7 7
信州大学医学部附属病院 (030346)	選択科	1 1 1 1	1 1 1 1					1 1 1 1						

＊ 1：臨床研修病院群における臨床研修で、1つの研修プログラムの中で研修医によって研修を行う研修分野の順番が異なる研修方法（たすきがけ方式等）を採用する場合は、当該研修プログラムの研修分野並びに当該分野の研修を行う病院又は施設の名称及び研修期間を本用紙に記入した上で、研修分野の順番のパターンごとに研修スケジュールを別葉に記入すること。また、同様の研修プログラムが複数存在する場合は、すべての研修プログラムを1枚にまとめたものを添付すること。

＊ 2：「研修分野」欄には、「5. 臨床研修を行う分野」欄に記入した研修分野を記入すること。

＊ 3：選択科目の研修分野の各月の研修人数については、病院ごとの研修医の受入予定の中で考えられる最大の受入数を記入すること。

3.1 臨床研修指導医（指導医）等の氏名等		病院施設番号：030353		臨床研修病院の名称：南長野医療センターⅡノ井総合病院			別紙4	
担当分野	氏名	所属	役職	臨床 経験 年数	指導医講習会等の 受講経緯 有：○/無：×受講 講習（受講年）	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医 （指導医）
内科	マブタ アケミ 松岡 明美	南長野医療センターⅡノ井総合病院	副院長	32	○	指導医講習会（信大WS2006）、プライマリ医科看護養成講習会、内科学認定内科医、内科学総合内科専門医、呼吸器会指導医、専門医、呼吸器内視鏡学会気管鏡専門医・指導医、睡眠学会睡眠医療認定医、アレルギー学会認定医、指導医、がん治療認定医機構がん治療認定、がん治療認定医機構がん治療認定医、がん治療認定医機構がん治療認定医	30353405	1, 4
内科	タムラ カツコ 田村 克彦	南長野医療センターⅡノ井総合病院	医師	46	○	指導医講習会（4病院団体協議会H15）、透析医学会認定医、指導医	30353405	4
内科	ウシマルヒロヤス 牛丸 博孝	南長野医療センターⅡノ井総合病院	副院長	40	○	指導医講習会（信州医科WS2017） 消化器内視鏡学会専門医・指導医、消化器病学会消化器病専門医、内科学会認定内科医、	30353405	4
内科	ミムラウケサミ 峯村 今朝美	南長野医療センターⅡノ井総合病院	部長	31	○	研修指導医講習会（長野県医師会・病院協議会第1回）	30353405	4
内科	マキノ ケンシ 牧野 謙	南長野医療センターⅡノ井総合病院	部長	32	○	指導医講習会（日本病院会H21）、内科学会認定内科医、内科学会総合内科専門医、腎臓学会腎臓専門医・指導医、透析医学会専門医・指導医	30353405	4
内科	タケマエヒロアキ 竹前 宏昭	南長野医療センターⅡノ井総合病院	副部長	17	○	指導医講習会（信州医科WS2015）、総合内科専門医、内科学会認定内科医、腎臓学会腎臓専門医・指導医、透析医学会透析専門医・指導医	30353405	4
内科	クリハラシゲカズ 栗原 重和	南長野医療センターⅡノ井総合病院	医師	9	○	指導医講習会（KKR病院第12回）、腎臓学会腎臓専門医、透析医学会透析専門医	30353405	4
内科	サエギセナブ 三枝 久能	南長野医療センターⅡノ井総合病院	部長	29	○	指導講習会（信州医科WS2013）、内科学会認定内科医、総合内科専門医、消化器内視鏡学会専門医・指導医、消化器病学会消化器病専門医、がん治療認定医機構がん治療認定医	30353405	4
内科	ハラ リョウスケ 原 亮祐	南長野医療センターⅡノ井総合病院	副部長	17	○	指導医講習会（信大WS2015）内科学会総合内科専門医、リウマチ学会認定医・指導医、プライマリ・ケア連合学会認定医・指導医	30353405	4
内科	コダマ リョウ 児玉 亮	南長野医療センターⅡノ井総合病院	部長	23	○	科医、消化器病学会消化器病専門医、消化器内視鏡学会専門医・指導医、内科学会総合専門医、肝臓学会専門医、アレルギー学会認定医・指導医	30353405	4
内科	ホリウチシズミ 堀内 優通	南長野医療センターⅡノ井総合病院	部長	22	○	指導医講習会（信大WS）	30353405	4
内科	オガワ ミナト 小川 英祐	南長野医療センターⅡノ井総合病院	副部長	19	○	指導医講習会（信大WS2013）、内科学会総合内科専門医、リウマチ学会専門医・指導	30353405	4
内科	ナガイ タツオ 永井 立夫	南長野医療センターⅡノ井総合病院	部長	29	○	指導医講習会（北里大学WS第5回）、内科学会総合内科専門医、リウマチ学会専門医・指導	30353405	4
内科	ヨコタ ユキコ 横田 有紀子	南長野医療センターⅡノ井総合病院	副部長	15	○	指導医講習会（信大WS2017） 内科学会総合内科専門医、消化器病学会消化器病専門医	30353405	4
内科	ヤマザキモロコ 山口 朋彦	南長野医療センターⅡノ井総合病院	医長	10	○	指導医講習会（JA長野厚生連第13回） 内科学会認定医	30353405	4
内科	イムラユキヤ 飯村 幸哉	南長野医療センターⅡノ井総合病院	医師	9	○	指導医講習会（JA長野厚生連第13回） 内科学会専門医	30353405	4
内科	ウラノ フサソウ 瀧野 廣三	南長野医療センターⅡノ井総合病院	医師	49	○	指導医講習会（日本病院会H22）、リウマチ学会専門医・認定医	30353405	4
内科/総合診療科	スズキ サトル 鈴木 真博	南長野医療センターⅡノ井総合病院	医師	43	○	H29年1回臨床研修指導医養成講習会、内科学会総合内科専門医、内科学会認定内科医、リウマチ学会専門医・指導医、プライマリ・ケア連合学会認定医・研修医指導医	30353405	4
内科/総合診療科	ヤマカワジュンイチ 山川 淳一	南長野医療センターⅡノ井総合病院	部長	28	○	指導医養成講習会（金沢医科大学H19）、医師会認定産業医、内科学会認定内科医、東洋医学会認定医、専門医、指導医、病院総合診療医学会認定医、プライマリケア連合学会認定医・指導医	30353405	4
総合診療科	スズキ ヨシヒコ 鈴木 慶彦	南長野医療センターⅡノ井総合病院	副部長	16	○	指導医講習会（15回東京医科大学病院）、内科学会認定医	30353405	4
総合診療科	ヤマザキミコ 山崎 美子	南長野医療センターⅡノ井総合病院	医師	7	○	指導医講習会（JA長野厚生連WS第13回）、内科専門医	30353405	4
内科/地域保健	ナガサカ マサユキ 長坂 正幸	南長野医療センターⅡノ井総合病院	医師	49	○	指導医講習会（信大WS2005）、認定内科医指導医	30353405	4
内科	ギトガワ ヨシコ 大島沢 久美子	南長野医療センターⅡノ井総合病院	部長	31	○	指導医講習会（2回上越総合病院）内科学会認定内科医、循環器学会専門医	30353405	4
内科	コバヤシカヒロ 小林 隆洋	南長野医療センターⅡノ井総合病院	部長	21	○	指導医講習会（全国自治体病院協議会第130回）、内科学会総合内科専門医、循環器学会認定循環器専門医	30353405	4
内科	マルヤマケン 丸山 拓哉	南長野医療センターⅡノ井総合病院	副部長	18	○	指導医講習会（H30日本医師会WS）、内科学会認定内科医	30353405	4
内科	ヒラシ セイチ 早森 盛一	南長野医療センターⅡノ井総合病院	部長	22	○	指導医講習会（信大WS2023）、内科学会総合内科専門医	30353405	4
内科	タビラ ヒロアキ 田辺 裕章	南長野医療センターⅡノ井総合病院	医長	14	○	指導医講習会（第1回上越総合病院）、内科学会認定医、循環器学会専門医	30353405	4
精神科	オオムラキ 大村 優子	南長野医療センターⅡノ井総合病院	部長	35	○	指導医講習会（JA長野厚生連第1回）、精神保健指定医、総合病院精神医学会専門医・指導医、心身医学会心身医療精神科専門医、精神科学会精神科専門医・指導医	30353405	4
小児科	オカムラシンイチ 中村 真一	南長野医療センターⅡノ井総合病院	部長	34	○	養成講習会指導医講習会（JA長野厚生連第10回）、小児科学会小児科専門医、平成13年度専門（小児疾患）指導	30353405	4
小児科	シマ ヨウスケ 島 陽介	南長野医療センターⅡノ井総合病院	部長	19	○	指導医講習会（信州医科WS2018）、小児科学会小児科専門医・指導医	30353405	4
小児科	モロハツミオ 諸橋 文雄	南長野医療センターⅡノ井総合病院	医師	47	○	指導医講習会（長野県医師会・病院協議会第3回）、小児科学会小児科専門医	30353405	4
外科	イシイ タツオ 池野 龍雄	南長野医療センターⅡノ井総合病院	院長	35	○	専門医、消化器外科学会指導医・専門医、消化器外科学会消化器がん外科治療認定、消化器内視鏡学会専門医・指導医、消化器病学会指導医、消化器病学会消化器病専門医、がん治療認定医機構がん治療認定医	30353405	4
外科	ゴミウ シンイチ 玉岡 良仁	南長野医療センターⅡノ井総合病院	部長	34	○	外科学会外科専門医、消化器外科学会消化器外科専門医、消化器外科学会消化器がん外科治療認定、臨床細胞学会細胞指導医、がん治療認定医機構がん治療認定医、指導医講習会（国立病院機構H18）	30353405	4
外科	カサノ カズ 笠原 晋史	南長野医療センターⅡノ井総合病院	部長	21	○	指導医講習会（信州医科WS2015）外科学会専門医、消化器外科専門医・指導医	30353405	4

外科	ユキマ コト 小山 雄	南長野医療センター・篠ノ井総合病院	副部長	16	○	指導医講習会（信大WS2022）外科学会専門医、消化器外科専門医	30353405	4
外科	アリヨシユウ 有吉 祐	南長野医療センター・篠ノ井総合病院	医長	13	○	指導医講習会（第18回秋田県臨床研修協議会）、外科学会専門医	30353405	4
外科	ダカハタ シュウゴ 高畑 周吾	南長野医療センター・篠ノ井総合病院	医長	10	○	指導医講習会（JA長野厚生連WS第13回）、外科学会専門医	30353405	4
整形外科	イシガキ リオオ 石垣 範雄	南長野医療センター・篠ノ井総合病院	部長	27	○	指導医講習会（信大WS2022）、整形外科学会専門医	30353405	4
整形外科	ノムラ ヒロキ 野村 雄紀	南長野医療センター・篠ノ井総合病院	副部長	19	○	指導医講習会（信州夢科WS2017）、整形外科学会専門医、日本体育協会公認スポーツドクター	30353405	4
救急科	セキグチキオウ 関口 幸男	南長野医療センター・篠ノ井総合病院	部長	32	○	指導医講習会（信大WS2009）、7/19/73責任者養成講習会（H20）、救急医学会救急科専門医、集中治療医学会集中治療専門医、呼吸器療法医学会呼吸器療法専門医、小児科学会小児科専門医、7/31/177連合学会認定医	30353405	4 救急指導医
救急科	オオシノウ 大石 奏	南長野医療センター・篠ノ井総合病院	副部長	17	○	指導医講習会（JA長野厚生WS第9回）、救急医学会救急科専門医、内科学会認定内科医	30353405	4 救急指導医
脳神経外科	ミシタトシヒコ 宮下 俊彦	南長野医療センター・篠ノ井総合病院	統括院長	43	○	指導医講習会（長野県医師会・病院協議会第2回）7/19/73責任者養成講習会（H24）、脳神経外科学会専門医、脳卒中学会専門医、頭痛学会専門医、神経経路栄養学会認定医	30353405	4
脳神経外科	ムラタ タカヒロ 村田 貴弘	南長野医療センター・篠ノ井総合病院	診療部長	27	○	指導医講習会（信大WS2012）、脳神経外科学会専門医、脳卒中学会専門医、救急医学会救急科専門医、脳神経血管内治療学会専門医	30353405	4 救急指導医
脳神経外科	クロマワササミ 黒岩 正史	南長野医療センター・篠ノ井総合病院	部長	20	○	指導医講習会（信大WS2020）、脳神経外科学会専門医、脳卒中学会指導医	30353405	4
脳神経外科	ホカマ シュウ 外間 政信	南長野医療センター・篠ノ井総合病院	医師	45	○	指導医講習会（4病院団体協議会H17）、7/19/73責任者養成講習会（H21）、脳神経外科学会専門医、脳卒中学会専門医、7/31/177連合学会認定医、指導医	30353405	4
皮膚科	オカダ 岡田 なぎさ	南長野医療センター・篠ノ井総合病院	部長	25	○	指導医講習会（信大WS2023）、皮膚科学会専門医	30353405	4
眼科	アカハヤシタ 赤羽 圭太	南長野医療センター・篠ノ井総合病院	副部長	16	○	指導講習会（信州夢科WS2019）、眼科学会専門医	30353405	4
泌尿器科	ナカヅマサキ 中沢 昌樹	南長野医療センター・篠ノ井総合病院	部長	29	○	指導医講習会（JA長野厚生連WS第2回）泌尿器科学会専門医、泌尿器科学会指導医、泌尿器腔鏡技術認定医、内視鏡外科学会技術認定医（泌尿器腔鏡）、ロボット（da Vinci）手術認定医	30353405	4
泌尿器科	スズキ ヒサリ 鈴木 尚徳	南長野医療センター・篠ノ井総合病院	部長	23	○	指導医講習会（信大WS2013）、泌尿器科学会専門医・指導医、がん治療認定医療機構がん治療認定医、化学療法学会抗がん化学療法認定医、医師会認定健康増進医	30353405	4
泌尿器科	マザカゲン 松茂 淳	南長野医療センター・篠ノ井総合病院	医長	11	○	指導医講習会（JA長野厚生連WS第13回）	30353405	4
産婦人科	本道 隆明	南長野医療センター・篠ノ井総合病院	部長	38	○	指導医講習会（長野県医師会・病院協議会第4回）、産婦人科学会専門医、母体保護指定医	30353405	4
産婦人科	カノウ シヨシ 加藤 清	南長野医療センター・篠ノ井総合病院	部長	35	○	指導医講習会（信大WS2006）、産婦人科学会専門医、婦人科腫瘍学会専門医、母体保護指定医	30353405	4
産婦人科	カシマ ヒロユキ 鹿島 大晴	南長野医療センター・篠ノ井総合病院	部長	25	○	指導医講習会（信大WS2008）、産婦人科学会専門医、婦人科腫瘍学会専門医、母体保護指定医	30353405	4
産婦人科	ニシムラヨウヘイ 西村 良平	南長野医療センター・篠ノ井総合病院	副部長	17	○	指導医講習会（第14回富山大学）、産婦人科学会専門医	30353405	4
産婦人科	キムラ ヒサル 木村 薫	南長野医療センター・篠ノ井総合病院	医師	49	○	指導医講習会（信大WS2005）、産婦人科学会専門医、母体保護指定医	30353405	4
耳鼻咽喉科	アサノ シロウ 浅野 史朗	南長野医療センター・篠ノ井総合病院	部長	32	○	指導医講習会（JA長野厚生連WS第3回）、耳鼻咽喉科学会専門医・専門研修指導医	30353405	4
麻酔科	ナカジマユウイチ 中島 浩一	南長野医療センター・篠ノ井総合病院	診療部長	37	○	指導医講習会（愛知県厚生連第14回）麻酔科学会麻酔科専門医・指導医	30353405	4
麻酔科	タナカ ヒデノリ 田中 秀典	南長野医療センター・篠ノ井総合病院	部長	20	○	指導医講習会（第19回日本麻酔科学会）麻酔科学会麻酔科専門医・指導医、心臓血管麻酔科学会心臓血管麻酔専門医、集中治療学会集中治療専門医、救急医学会	30353405	4
麻酔科	サカモトアキキ 坂本 明之	南長野医療センター・篠ノ井総合病院	部長	23	○	麻酔科学会専門医、ペインクリニック学会専門医、信大WS2010	30353405	4
病理診断科	カワグチケンジ 川口 研二	南長野医療センター・篠ノ井総合病院	医師	46	○	臨床細胞学会細胞診専門医、病理学会病理専門医研修指導医、指導医講習会（日本病院会H20）	30353405	4 病理指導医
病理診断科/臨床検査科	マキノ ムツシ 牧野 睦夫	南長野医療センター・篠ノ井総合病院	部長	23	○	指導医講習会（JA長野厚生WS第8回）、病理学会病理専門医、臨床細胞学会細胞診専門医、病理学会病理専門医研修指導医、内科学会認定内科医、透析学会専門医	30353405	4 病理指導医
外科	ウヰノ コト 鵜井 誠	南長野医療センター・篠ノ井総合病院	部長	30	○	指導医講習会（信州夢科WS2009）、外科学会専門医、呼吸器外科学会専門医、CT検査認定医、呼吸器専門医、気管支鏡専門医、がん治療認定医	30353405	4
外科	アオキ タケサ 青木 孝幸	南長野医療センター・篠ノ井総合病院	部長	38	○	外科学会専門医、胸部外科学会認定医、指導医講習会（日本病院会H19）	30353405	4
放射線科	イハラ ノブマロ 井原 信雄	南長野医療センター・篠ノ井総合病院	部長	27	○	指導医講習会（第14回日本赤十字）、医学放射線科学会放射線専門医	30353405	4
集中治療科/総合診療科/心臓血管外科	ゴトウ ヒロヒサ 後藤 博久	南長野医療センター・篠ノ井総合病院	副診療部長	36	○	指導医講習会（信州夢科WS2012）、外科学会認定登録、胸部外科学会指導医、救急医学会救急科専門医、7/31/177連合学会認定指導医	30353405	4 救急指導医
精神科	エンボウ ケンジ 遠藤 謙二	千曲荘病院	院長	42	○	精神保健指定医、指導医講習会（H16日本精神科学会）	30353405	3.4
精神科	アンドウナオヤ 安藤 直也	千曲荘病院	診療部長	29	○	精神保健指定医、指導医講習会（H16日本精神科学会）	30353405	4
精神科	ウヰノ コト 鵜井 誠	千曲荘病院	医師	50	○	精神保健指定医、指導医講習会（H24日本精神科学会）	30353405	4
精神科	サクライユウシ 櫻井 剛志	千曲荘病院	医師	21	○	精神保健指定医、日本精神科学会専門医、指導医講習会（JA長野厚生連WS第5回）、指導医講習会（日本精神神経学会1第5回）	30353405	4
精神科	タケシゲヒロノブ 武重 宏昌修	千曲荘病院	医師	21	○	精神保健指定医、日本精神科学会専門医・指導医	30353405	4
精神科	ユウキ マサシ 遊木 正俊	篠ノ井構病院	理事長・院長	31	○	日本精神科学会専門医・指導医、指導講習会（北信越地区精神科七者盟H17）	30353405	3.4
地域医療	シミズ タケン 清水 健	コスモス長野	施設長	67	×	循環器学会専門医	30353405	4

地域医療	マルヤマサキ 丸山 正昭	南長野医療センター新町病院	院長	41	○	指導医講習会（JA長野厚生WS第3回）	30353405	3.4
地域医療	サトウ エツロウ 佐藤 悦郎	南長野医療センター新町病院	副院長	36	×	総合内科医専門医	30353405	4
地域医療	イナカ タケシ 野中 起聡	南長野医療センター新町病院	医師	8	○	指導医講習会（JA長野厚生連第13回）	30353405	4
地域医療	ミヤジマ マカ 宮島 有葉	長野市保健所	所長	28	○	指導医講習会（H26）	30353405	3.4
地域医療	ヤマダ ユウジ 山田 祐司	愛和病院	理事長	44	×	緩和医療学会専門医	30353405	3.4
地域医療	フノ ヒロカズ 澤野 寛和	長野県赤十字血液センター	所長	30	×		30353405	3.4
地域医療	ウチバ キヨシ 内場 康	長野市大同診療所	所長	38	×		30353405	3.4
地域医療	アサギ リュウイチ 安里 龍一	いろどりの診療所	所長	11	○	指導医講習会（第24回岐阜県医師会）、日本専門医機構総合診療専門 研修特任指導医、日本在宅医療連合学会指導医	30353405	3.4
地域医療	カタイ タシロ 片井 聡	鹿教湯三才山リハビリテーション・鹿教湯病院	診療部長	33	○	指導医講習会（JA長野厚生連WS H24）、日本リハビリテーション医学 学会専門医、日本神経学会専門医、日本内科学会認定内科医	30353405	3.4
地域医療	オオタケ マコト 大滝 道彦	鹿教湯三才山リハビリテーション・鹿教湯病院	統括院長	42	○	指導医講習会（信大卒業WS2008）、日本脳神経外科学会専門医、日本 救急医学会専門医、日本リハビリテーション医学会認定	30353405	4
地域医療	ミヤギ ユウイチ 宮城 浩一	鹿教湯三才山リハビリテーション・鹿教湯病院	診療部長	39	○	指導医講習会（JA長野厚生連WS H28）、日本神経学会専門医、日本内 科学会総合内科専門医	30353405	4
地域医療	カワブキ ケンタロウ 瓦根 健太郎	鹿教湯三才山リハビリテーション・鹿教湯病院	部長	30	○	指導医講習会（JA長野厚生連WS H30）、日本神経学会専門医、日本脳 卒中学会専門医、日本頭痛学会専門医、日本救急医学専門医	30353405	4
地域医療	サトウ タカヒデ 佐藤 貴英	鹿教湯三才山リハビリテーション・鹿教湯病院	副部長	27	○	指導医講習（武蔵野整十字WS H21）、日本脳神経学会専門医	30353405	4
地域医療	タナカ マサオ 田中 征雄	鹿教湯三才山リハビリテーション・鹿教湯病院	医師	44	○	指導医講習会（信大WS2004）	30353405	4
地域医療	マエダ ミツフ 前田 達宣	鹿教湯三才山リハビリテーション・鹿教湯病院	名誉センター長	51	○	指導医講習会（JA長野厚生連WS H20）、日本リハビリテーション医学 会専門医、日本整形外科学会専門医	30353405	4
地域医療	ミリスヒタ タカウ 森泉 英太郎	鹿教湯三才山リハビリテーション・鹿教湯病院	医師	10	○	指導医講習会（JA長野厚生連WSR6）、日本リハビリテーション医学 会専門医	30353405	4
地域医療	ヨシムネ キ 吉田 悠紀	鹿教湯三才山リハビリテーション・鹿教湯病院	医師	9	○	指導医講習会（JA長野厚生連WSR6）、	30353405	4
地域保健	ヤマギシ ミチヨ 山岸 美枝子	訪問看護ステーションのい	所長		×		30353405	3

※ 「所属」欄には、臨床研修指導医（指導医）等が所属する病院又は施設の名称を記入すること。

※ 「資格等」欄には、指導医に係る講習を受けた旨や、取得した専門医資格等について記入すること。

※ 「プログラム番号」欄には、臨床研修指導医（指導医）等が担当するすべてのプログラム番号を記入すること（プログラム番号を取得していない場合には研修プログラムの名称を記入すること。）。

※ プログラム責任者、副プログラム責任者、研修実施責任者及び臨床研修指導医（指導医）については、「備考」欄にそれぞれに付した番号を記入し、併せてプログラム番号を記入すること（プログラム番号を取得していない場合には研修プログラムの名称を記入すること。）。

* 研修実施責任者・・・協力型臨床研修病院又は臨床研修協力施設において、当該施設における臨床研修の実施を管理する者

* 臨床研修指導医（指導医）・・・研修医に対する指導を行う医師であり、7年以上の臨床経験及び指導医養成講習会等の受講経験を有する者

25. 臨床研修病院群の時間外・休日労働最大想定時間数の記載（基幹型記入）

基幹型臨床研修病院の名称（所在都道府県）：南長野医療センター篠ノ井総合病院（長野県）

研修プログラムの名称 南長野医療センター篠ノ井総合病院臨床研修プログラム

病院名	病院施設番号	種別	所在都道府県	時間外・休日労働 （年単位換算） 最大想定時間数	おおよその当直・日直回数 ※宿日直許可が取れている場合はその旨を記載	参考 時間外・休日労働 （年単位換算） 前年度実績	C-1水準 適用
南長野医療センター篠ノ井	30353	基幹型	長野県	0月2～4回	宿日直許可あり	O時間 対象となる研修医14名 （2024年度）	適用 申請中 申請予定
		協力型					適用 申請中 申請予定
		協力型					適用 申請中 申請予定
		協力型					適用 申請中 申請予定
		協力型					適用 申請中 申請予定
		協力型					適用 申請中 申請予定
		協力型					適用 申請中 申請予定
		協力型					適用 申請中 申請予定
		協力型					適用 申請中 申請予定

- ※ 年次報告の場合は、報告年度の前年度の実績及び報告年度の想定を記入すること。
研修プログラム変更・新設の届出の場合は、届出年度の前年度の実績及び次年度（プログラム開始年度）の想定を記入すること。
- ※ 該当する項目について、基幹型臨床研修病院を筆頭にして、研修医と雇用契約を締結する協力型臨床研修病院について、施設番号順に詰めて記入すること。
- ※ 病院群を構成する基幹型臨床研修病院及び研修医と雇用契約を締結する協力型臨床研修病院の病院施設番号、病院種別（基幹型・協力型）、所在都道府県、時間外・休日労働（年単位換算）の最大想定時間数、おおよその当直・日直回数（宿日直許可が取れている場合はその旨）、前年度の時間外休日労働の年単位換算実績及び、C-1水準適用の状況を記入すること。
- ※ 最大想定時間数は、プログラムに従事する臨床研修医が、該当する研修病院において実際に従事することが見込まれる時間数について、前年度実績も踏まえ、実態と乖離することのないよう、適切に記入すること。
- ※ 臨床研修医においては、従事する全ての業務が研修プログラムに基づくものとなるため、A水準又はC-1水準しか適用されないことに留意すること。